

インターバンクの声（2014年11月19日）

昨晚の午後7時過ぎ、事前に安倍首相の会見内容は大方想定されていたものの、「まさかのどんでん返し」が飛び出やしないかと、退社時間即帰宅組を交えてNHKニュース中の記者会見を見守ったディーリングルームが多かったに違いない。結果的に首相の発言に「まさか」の部分はなかったが、文脈上一瞬「来年の10%への消費税増税を予定通り実施する」と締め括るのかと思わせる場面があり、それが116円40銭辺りへ下げる原因になったと感じた人もいたはずだ。解散・総選挙を行う大義が見当たらないとか、結局アベノミクスは失敗などと巷の論調も様々だが、金融に携わっている多くの人たちが一番感じたことは、「日銀がこれからも政府と一体となってデフレ脱却に向けた協調政策を採っていいのか」との懸念だろう。今日、午後の日銀金融政策決定会合後の黒田日銀総裁による記者会見が俄然大きなイベントになった。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。